

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

めがね橋本体のお色直しは



浅沼 幸雄 議員
(正心会)

るように早急に協議を進めていく。

問 市長は、第三セクターについて12月定例会の所信表明演述で、本年度末を目途に方向性を示す旨の発言をされたが、具体的にはどのような方策で見直しをするのか。

答 各法人ごとに評価シートを作成し、法人自身の一次評価、市内部の二次評価、さらに第三次評価として有識者による「進化まちづくり検討委員会」を設置し、専門的・客観的議論を加えながら作業を進め、来年3月を目途に一定の方向性を見出したい。

問 少子高齢化が進行するなか、学校教育と社会教育の関係がますます深まらなければならぬと思うが、教育長はどう考えるか。

答 全ての児童生徒が心身ともに健全に育っていくためには、家庭、学校、社会で行われている教育において、それぞれの役割が発揮され、しかも全体として調和を保って進められることが重要であると考える。

特に家庭教育は、全ての教育機能の出発点であり重要な役割を持っている。しかし少子化や核家族化が進んだことなど、子育てを支える仕組みや環境が失われつつあり、子育てに不安を持つ親が増えてきている。そのため家庭教育を社

会全体で支援する取り組みを積極的に行う必要があると考える。

【その他の質問】

行政評価を実施する場合、市民の視点による評価の導入も検討すべきではないか。



周辺の環境整備が検討されているめがね橋